

チャレンジデー2020 実施の手引き



公益財団法人 笹川スポーツ財団

目次

1	年間スケジュール	1
2	開催概要	2
3	チャレンジデー実施に向けた準備	3
4	集計・報告	4
5	チャレンジデー各アワード	5
6	全国共通イベントの実施	7
7	ワールドチャレンジデーの実施	8
8	チャレンジデー実施自治体へのサポート	9
9	助成金の申請	10
10	事業完了報告書の提出	13
11	チャレンジデーフォーラム・メダル認定証授与式への参加	14
12	Q&A（よくあるご質問と回答）	15
13	Q&A（助成金にかんしてよくあるご質問と回答）	16

1 年間スケジュール

日 程	事 項	備 考
1月27日締切	チャレンジデー2020 実施申込締切	当財団ウェブサイトにて 継続実施・新規実施をお知らせください。
1月30日～ 2月7日	人口情報・参加部門の登録	※2020/1/1 時点の人口をご入力ください。
2月28日締切	ポスター Tシャツ・グッズ申込	
2月末	実施自治体数・対戦組合せ発表	
3月27日厳守	助成金申請書および 事業計画書の提出締切	助成金申請書マニュアルをご参照ください。 ※締切後に提出された場合は、助成金の概算払いが遅くなりますので、ご注意ください。
4月下旬	助成金決定通知書送付	速やかに請書をご返送ください。
4月27日	助成金の概算払い	日にちが前後する場合があります。 速やかに領収書をご提出ください。
5月中旬	全国共通イベント申込締切	
5月中旬	集計システムテスト実施	
5月27日	チャレンジデー2020 開催	当財団に3回集計結果を報告 13:00/17:00/22:00
6月5日	全国共通イベント・ 各種アワード報告締切	
6月19日	実施報告書（レポート原稿）提出締切	
8月21日	チャレンジデーフォーラム開催	会場：京都市内/申込締切：8月14日（金）
10月16日厳守	事業完了報告書の提出締切	
10月～12月	助成金確定通知書および 返還依頼通知書発送	返還金のある自治体は、発信日から1週間以内に当財団の指定口座にお振込みください。
2021年		
12月～1月	チャレンジデー2021 実施の検討・申込	当財団ウェブサイト申込ページにて 実施の意向をお知らせください。

2 開催概要

【基本ルール】

日時 5月27日（水） 午前0時～午後9時の21時間

人口 2020年1月1日時点の人口に基づき、以下6つのカテゴリーに分類します。

住民基本台帳登録者数（外国人登録者含む）

カテゴリー1（6,000人未満）

カテゴリー2（6,000人～15,000人未満）

カテゴリー3（15,000人～35,000人未満）

カテゴリー4（35,000人～75,000人未満）

カテゴリー5（75,000人～160,000人未満）

カテゴリー6（160,000人以上）

対象 当日、開催自治体にいる人すべてが対象です。住民以外にも、通勤・通学者、観光客なども対象となります。（参加率が100%を超える場合もあります）

※年齢・性別による除外規定は設けないこと。

競技 15分以上、継続して行った運動・スポーツであればどのような競技でも構いません。実施プログラムは各自治体の実行委員会が任意に設定してください。

※学校の授業・運動部活動、普段行う農作業は除きます。

場所 実施自治体内であれば、自宅、職場、スポーツ施設等どこでも構いません。

参加部門 チャレンジデーへの参加を以下4部門とします。

①正式のチャレンジデー（対戦あり）

②正式のチャレンジデー（対戦あり）+ワールドチャレンジデー（p.8参照）

③オープン参加（対戦なし）+ワールドチャレンジデー

④オープン参加（対戦なし）

【参加部門詳細一覧】

部門	国内対戦	海外対戦	参加率報告	メダル授与	アワード授与	賞状授与(TAFISA)
①	○	×	○	○	○	×
②	○	○	○	○	○	○
③	×	○	○	○	×	○
④	×	×	○	○	×	×

【対戦ありの場合】

対戦相手	カテゴリーごとに SSF チャレンジデー本部（以降、本部）が抽選で対戦相手を決定します。
対戦方法	人口が同規模の自治体同士で、15 分間以上続けて運動やスポーツを実施した住民の参加率（%）を競い合います。
対戦相手との交流	実行委員会の代表同士で、事前に電話やテレビ電話などを通してエール交換を行ってください。お互いの健闘を誓い合うとともに、目標や当日のプログラムなどの情報交換、自治体間交流にご活用ください。
自治体旗の掲揚	事前に対戦相手と自治体旗を交換してください。敗れた自治体には、庁舎に対戦相手の旗を掲揚していただきます。健闘を称え、勝利した自治体が相手の旗を掲げてかまいません。

3 チャレンジデー実施に向けた準備

実行委員会の設置 広報活動、関係団体への協力依頼、当日のイベント内容などを決定する組織として、実行委員会を設置します。各自治体の行政担当者、他、スポーツ団体、教育機関、障害者・高齢者団体、自治会など多様な組織が関わるのが重要です。なお、実行委員会の代表は、基本的に各自治体の首長が就任するようにしてください。

テーマ・目的の設定 チャレンジデーは、運動やスポーツの習慣化を図るきっかけづくりのイベントです。健康意識や運動・スポーツに対する意識の向上を図るうえでも、テーマや目的を明確にしてください。

プログラムの企画 地域の特徴を活かしたプログラムや、オープニング・ファイナルイベントなど、住民の関心と興味を引くイベントの企画が有効です。チャレンジデーをきっかけに、スポーツ団体やプロスポーツチームとの協力関係を深めることで、事後の様々な教室やイベントの開催に繋がっています。事業所や学校単位で全国共通イベント（p.7 参照）に参加する自治体もあります。

広 報 活 動 地域住民にチャレンジデーを知ってもらうために、自治体広報誌や地元新聞、ラジオ、テレビやCATVなどのメディアを利用して、チャレンジデー当日のイベントや参加方法について周知することが重要です。ユニークな形で広報活動を行った自治体は、ぜひ広報アイデア賞（p.5 参照）へエントリーください。

チャレンジデー大使 チャレンジデー当日、当財団役員等が「チャレンジデー大使」として各実施自治体を訪問します。

4 集計・報告

【参加者数の集計】

集計センターの設置 当日の参加者数を集計するため、集計センターを設置してください。

報告方法 電話やFAX、電子メールなどで集計センターに報告されるようにしてください。スポーツ施設や公民館等に集計BOXを設置して独自の報告用紙を投函していただいたり、グループ単位（学校や地域、事業所等）で代表者が取りまとめて報告していただいても結構です。

報告締切 午後9時30分 ※時間厳守
チャレンジデーは午後9時に終了しますが、**住民の報告締切は午後9時30分まで**ですので、予め住民や関係者に周知してください。

【実施自治体から笹川スポーツ財団への報告】

報告方法 スポーツ政策データバンク「集計報告」から行います。
※5月中旬に正しく報告できるかテストを行います。
詳細はメールニュースにて後日ご案内します。

報告時間	第1回報告締切	<u>午後1時</u>
	第2回報告締切	<u>午後5時</u>
	最終報告締切	<u>午後10時</u> ※時間厳守
結果発表	進捗結果発表①	<u>午後1時30分（予定）</u>
	進捗結果発表②	<u>午後5時30分（予定）</u>
	最終結果発表	<u>午後11時（予定）</u>

※チャレンジデー当日に当財団のウェブサイトで公表します。
※最終結果の発表は全国の報道機関にFAXで一斉にお知らせします。
※最終結果発表までに担当者に連絡することがありますので、事務局は結果発表まで解散しないでください。

【禁止事項】

事前登録・事前報告 参加報告はチャレンジデー当日のみ有効です。
事前登録や事前報告を募り、当日の運動・スポーツの実施有無を確認せずに参加報告としてカウントすることは禁止です。

ダブルカウント ダブルカウントは禁止です。実施者本人が重複して報告することのないよう、周知と確認を徹底してください。

買い物ウォーキング 単に買い物をしている方を運動したとみなしてカウントすることは固く禁止します。買い物ウォーキングと位置づける場合は、チャレンジデーについての周知や呼びかけを必ず行ってください。

5 チャレンジデーアワード

アワードの趣旨 優れた成果を収めた各自治体を表彰します。

☆チャレンジデー大賞 最も参加率の高かった自治体に贈られる賞

☆カテゴリー優秀賞 各カテゴリー（1～6）で最も参加率が高かった自治体に贈られる賞

☆新人賞 初実施自治体の中で、最も参加率の高かった自治体に贈られる賞

☆参加率アップ賞 2019年度と比較して最も参加率の上がった自治体に贈られる賞

☆ベストPR賞 新聞や雑誌、テレビ・ラジオなどの報道機関に多く取上げられた自治体に贈られる賞 **※提出は必須です。**

※以下の提出内容をもとに総合的に判断します。

<エントリー方法> ・報告用紙（報道実績リスト）に、必要事項を記入してください。
・報告用紙と掲載物のデータを zip ファイルにまとめスポーツ政策データバンク「各種結果報告」へアップロードをお願いします。

※基本的に、1日1社1媒体を対象とします。

<提出様式> スポーツ政策データバンクマニュアルと5月中旬配信メールニュースをご参照ください。

<提出締切> 6月5日（金）

<対象外媒体> ・市町村の広報紙 ・実行委員会で製作したチラシ・ポスター
・広報費を要する新聞掲載 ・ケーブルテレビなどでのスポットCM

☆広報アイデア賞 チャレンジデーを広く周知するためにユニークな広報活動を実施した自治体に贈られる賞 ※提出は任意です。

※以下の提出内容をもとに総合的に判断します。

<エントリー方法> ・チャレンジデーを周知するために実施した広報戦略・方法について、報告用紙に詳細を記入してください。

・報告用紙とあわせてスポーツ政策データバンク「各種結果報告」へアップロードをお願いします。

<提出様式> スポーツ政策データバンクマニュアルと5月中旬配信メールニュースをご参照ください。

<提出締切> 6月5日（金）

☆笹川スポーツ財団
特別賞

チャレンジデーの普及促進に貢献し、住民のスポーツ参加を積極的に推進した自治体・団体に贈られる賞
※該当がない年もあります。

☆殿堂入り

以下アワードを合計5回以上受賞した自治体が該当

・チャレンジデー大賞 ・ベストPR賞

※チャレンジデー2020 終了時点で条件を満たした自治体は殿堂入りとなります。殿堂入りを果たしたアワードについては、翌年度以降受賞の対象外となりますので、予めご了承ください。

なお、殿堂入り自治体につきましては記念品を贈呈するとともに、その取り組みを称え、チャレンジデーレポートに毎年その功績を掲載いたします。

※チャレンジデー2020 よりチラシ大賞は廃止いたしました。

トロフィーの授与

アワード受賞自治体には、後日記念のトロフィーが授与されます。また、「チャレンジデーフォーラム・メダル認定証授与式（8月21日（金）」にて、表彰します。

メダル認定証の授与

実施自治体の健闘を称え、参加率に応じた金・銀・銅のメダル認定証を授与します。

メダル認定証基準

メダル授与の基準は、カテゴリーと参加率によって決定します。

カテゴリー	金メダル	銀メダル	銅メダル
1	65%以上	40～65%未満	40%未満
2	60%以上	36～60%未満	36%未満
3	55%以上	32～55%未満	32%未満
4	51%以上	28～51%未満	28%未満
5	47%以上	24～47%未満	24%未満
6	43%以上	20～43%未満	20%未満

6 全国共通イベントの実施

- 目的** 全国の参加者の交流やチャレンジデーの盛り上げを目的として、実施自治体の参加者が共通のルールにより参加できるスポーツイベントを実施しています。
- 【実施種目】**
- ・ロープ・ジャンプ・X
 - ・スポーツごみ拾い
 - ・空き缶積み上げ
- ※各種目のルールについては当財団ウェブサイトをご覧ください。
- 【基本ルール】**
- 日時** 5月27日（水） 午前0時～午後9時の21時間
- 参加条件** 参加種目数と参加チーム数に制限はございません。
- 申込方法** チャレンジデー2020 実施自治体ページ『共通イベント申し込み』より参加種目と参加チーム数をご入力ください。
- 結果報告** スポーツ政策データバンクより、記録報告用紙をダウンロードし記録を記入の上アップロードしてください。
- 申込期間** 3月23日（月）～5月25日（月）
- 結果報告期間** 5月28日（木）～6月5日（金）
- 結果発表** 結果はメールニュースにてお知らせします。また、「SSFセミナー・メダル認定証授与式」にて、各種目の上位3位（ロープ・ジャンプ・Xは5位まで）を表彰します。
- 留意事項** ロープ・ジャンプ・Xの公認ロープ購入にかんしては本部までお問合せください。
全国共通イベントの用具代は助成金の対象となります。（上限あり）
※詳細は、「助成金対象経費一覧」の「消耗品費」をご確認ください。

7 ワールドチャレンジデーの実施

概要 チャレンジデーには、国内の実施自治体との対戦に加え、海外のチャレンジデー実施自治体と対戦する「国際スポーツ・フォー・オール協議会（TAFISA）」主催の「ワールドチャレンジデー」があります。

申込方法 メールニュースの案内にそって、チャレンジデー2020 実施自治体ページ『大会情報』より参加をお申込みください。

対戦方法 統括団体である TAFISA が下記基準に基づき、人口が同規模の海外自治体との対戦を組みます。対戦相手の発表は 5 月上旬予定です（対戦国等の希望がある場合、お早めに本部までご相談ください）。

自治体の人口によるカテゴリー分けは以下の通りです。

※国内対戦のカテゴリーとは基準が異なりますので、ご注意ください。

カテゴリー	人口（人）
1	20,000 未満
2	20,000～99,999
3	100,000～249,999
4	250,000～999,999
5	1,000,000 以上

自治体間の一対一の対戦では、2 つの自治体が対戦し、各自治体の午前 0 時～午後 9 時の間で 15 分間以上運動・スポーツを実施した人の参加率で競い合います。参加率の報告は国内のチャレンジデーの参加率を本部が TAFIASA へ報告します。

結果発表 結果発表は 6 月下旬予定

贈呈品 参加自治体には「Certification of Participation（参加賞状）」、対戦に勝利した自治体には「Winner's Certificate（勝利賞状）」、さらにカテゴリー別に最も参加率が高い自治体には「World Challengeday Cup（ワールドチャレンジデーカップ）」が TAFIASA より贈られます。

8 チャレンジデー実施自治体へのサポート

チャレンジデー実施に向け、笹川スポーツ財団は以下のサポートを行っております。

事業説明 実行委員会や関係者が集まる会議等で当財団担当者による事業説明を行っております。

情報提供 確認事項や連絡事項等を伝える「チャレンジデーニュース」を配信します。提出物や締切等の重要な内容もこちらでお知らせしますので、必ずご確認ください。メールの受信設定の関係で、外部からのメールが受信できない場合は本部までご連絡ください。

財政支援 実施に必要な経費の一部を助成します。

報道機関等へのPR チャレンジデーを盛り上げるために報道機関をはじめとする関係機関に事前・事後の広報活動を行います。

T シャツと関連グッズの無料提供

※無料提供分 T シャツの利益を目的とした転売は禁止します。

※参加部門による配布数の差はございません。

	T シャツ (無料分)	関連グッズ (有料分)	ポスター	うちわ
サイズ	S、M、L、XL	-		-
申込方法	グッズ申込ページより申込		ポスター無料提供分希望 枚数申請ページより申込	カテゴリーに応じた枚数を 提供いたします。
申込締切	2月10日(月)～2月28日(金) 予定			-
配布枚数	決定次第メールニュースを配信します			
発送時期	4月下旬予定		3月下旬予定	3月下旬予定

T シャツやポスターなどの各グッズデザインの詳細は、当財団ウェブサイト「事務書類・チラシ」ページにてご確認ください。また、チャレンジデー2020 より各カテゴリーごとにうちわをご提供します。住民への参加賞等にご活用ください。

参加率速報の提供 チャレンジデー当日、全実施自治体の参加率を一定時ごとに取りまとめ、実施自治体をはじめ全国の報道機関各社に FAX・メールで参加率速報をリリースします。

9 助成金の申請

1. 助成金申請書の提出

申請団体 チャレンジデー2020 を実施するために自治体が構成した実行委員会

申請期間 2020年3月9日（月）～2020年3月27日（金）**※厳守**

提出書類

- ①チェックリスト
- ②申請書①（**実行団体印及び代表者印どちらも必須**）
- ③申請書②
- ④事業計画書・アンケート
- ⑤収支予算書
- ⑥実行委員会の規約または会則
- ⑦実行委員会の組織図または名簿
- ⑧助成金振込口座の通帳表紙・中表紙のコピー**注1、注2**
注1） 初実施自治体および口座情報に変更のある継続自治体のみ対象
注2） 口座名義・番号などの情報が分かるページのコピー

提出方法 以下の送付先まで提出書類を郵送 **※締切厳守**

<送付先> 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 3階
笹川スポーツ財団 チャレンジデー本部

助成対象期間 2020年4月1日（水）～2020年8月31日（月）

※領収書の宛名は申請書の差出人である「実行委員会名」で統一。

※領収書の宛名・日付未記入または、上記期間外の場合、助成対象外経費とする。

その他留意事項 助成金対象経費一覧シート参照

2. 助成金概算支払い額の決定と概算払い

通知時期 4月下旬「助成金決定通知書」を郵送

提出書類 「助成金決定通知書」が到着後、
同封の「請書」に必要事項を記入押印の上、当財団に提出

振込時期 5月11日頃 **※時期が前後する可能性がございます。予めご了承ください。**

提出書類 振込確認後「助成金決定通知書」と同封の「領収書」に必要事項を記入押印の上、当財団に提出してください。

3. 助成金概算支払い額の算出方法

算出方法 チャレンジデー2020の実施に伴う助成対象経費の一部（最大80%）を助成とする。なお、下記表の通りカテゴリ別に助成金上限額を設ける。

※オープン参加は対象経費合計額において正式参加の1/2とする。

「助成対象経費合計」×「補助率（80%）」＝「助成金申請額」

【正式参加】

カテゴリ	助成金上限満額受領に必要な金額	助成対象経費合計		助成金上限額
1	70,000円	350,000円	以上	280,000円
			未満	助成対象経費合計の80%
2	90,000円	450,000円	以上	360,000円
			未満	助成対象経費合計の80%
3	115,000円	575,000円	以上	460,000円
			未満	助成対象経費合計の80%
4	140,000円	700,000円	以上	560,000円
			未満	助成対象経費合計の80%
5	180,000円	900,000円	以上	720,000円
			未満	助成対象経費合計の80%
6	232,000円	1,160,000円	以上	928,000円
			未満	助成対象経費合計の80%

【オープン参加】

カテゴリ	助成金上限満額受領に必要な金額	助成対象経費合計		助成金上限額
1	35,000円	175,000円	以上	140,000円
			未満	助成対象経費合計の80%
2	45,000円	225,000円	以上	180,000円
			未満	助成対象経費合計の80%
3	57,500円	287,500円	以上	230,000円
			未満	助成対象経費合計の80%
4	70,000円	350,000円	以上	280,000円
			未満	助成対象経費合計の80%
5	90,000円	450,000円	以上	360,000円
			未満	助成対象経費合計の80%
6	116,000円	580,000円	以上	464,000円
			未満	助成対象経費合計の80%

<提出必須書類>
領収書コピー + 内訳のわかる書類（納品書・請求書等）
 または、
振込確定書コピー + 内訳のわかる書類（納品書・請求書等）
<その他留意事項>
 ・振込手数料は生じた費目に計上。
 ・領収書の宛名は「実行委員会名」以外対象とする。
 ・領収書の宛名・日付未記入の場合外経費とする。
 ・領収書の日付が助成対象期間外の場合対象外とする。
 ・例外は下記【各費目留意事項】参照。

費目	助成対象経費内容	各費目留意事項	下記日付に生じた経費のみ対象
人件費	①講師・指導者謝金 ②司会・救護謝金 ③運営スタッフに対する謝金 ④団体謝金 ※①～④は10,000円（税込）まで対象	追加提出必須書類 ・領収者の「氏名」「住所」「電話番号」「押印」記載の領収書 ・個人への支払いが複数ある場合、受取人の氏名・住所・名目・領収日・押印があれば一覧表形式でも対象とする（受取人数分） その他 ・菓子折りや物品での謝礼は対象外 ・原則、人件費の割合は 助成対象経費合計の30%以内	CD当日分への謝金
交通費	①レンタカー代 ②有料道路代 ③駐車場代 ④人件費①～③に対する交通費 ⑤タクシー代 ⑥自動車ガソリン代 ⑦電車/バス代※グリーン車等の特別料金は対象外 ・フォーラム、メダル認定書授与式への交通費（1名）	追加提出必須書類 ・区間や経路、料金等を裏付ける書類（①～⑦のすべて、WEBの経路検索結果等で可） ・公共交通機関や旅行代理店等が発行する領収書（⑦） ・いずれも実費分のみを対象とし「日当」は対象外となる ・自治体の旅費規程による精算のみでは不十分なため対象外となる（上記の実費分を証する領収書等に提出が必須） ・宿泊バック料金は全額交通費に計上（明細書・経路の証明できる書類）	CD前日・当日・翌日 フォーラム前日・当日・翌日
宿泊費	・人件費①～③に対する宿泊費 ・フォーラム、メダル認定証授与式への宿泊費（1名分）	・宿泊に伴う諸雑費は対象外（食費、電話代、クリーニング代等） ・宿泊バック料金は全額交通費に計上	CD前日・当日 フォーラム前日・当日・翌日
消耗品費	①事務用品代 ②参加賞代 ③スポーツ用具代 ④表彰品代（賞状、トロフィー等） ⑤自治体旗/横断幕/のぼりクリーニング代 ⑥エール交換用備品（ICレコーダー・ウェブカメラ） ⑦対戦自治体への贈答品代 ①行政職員/人件費①～③の弁当代 ②行政職員/人件費①～③の飲料代 ・チャレンジデー実行委員会開催にともなう飲料代	【左記に関する留意事項】 ①代表者の私印は対象外 ②1人あたり500円（税込）まで対象 ※金券等は対象外 ③1個あたり50,000円（税込）まで対象 ④副賞等の賞品・景品代は対象外 ⑥1台のみ対象/10,000円（税込）まで対象 ⑦5,000円（税込）まで対象 その他 ・自治体で備えるべき設備・備品は対象外	- CD当日分 CD前日・当日・翌日
会場費	・冷暖房、照明等の附帯設備使用料 ・体育館、グラウンド、会議室等の施設使用料	・公共施設のみ対象 ・個人に生じる料金は対象外 （例：プール/ボウリング/トレーニングジム等）	CD前日・当日・翌日
印刷費	・ポスター、チラシなどの印刷費	・チャレンジデーのロゴや文字の表示があるもののみ対象	-
製作費	・広報グッズ （横断幕、のぼり、Tシャツ、ポケットティッシュ等）		
広報費	・新聞へのチラシ折込み費 ・広報誌等への広告掲載費 ・テレビやラジオのCM費 ・チャレンジデーの広報を目的としたWEBサイト作成費 ・QRコードの作成費	・チャレンジデーのロゴや文字の表示があるもののみ対象 ・原則、広報費の割合は 助成対象経費合計の30%以内	-
通信運搬費	・電話・FAX等の通信費 ・電話・FAX設置工事費 ・書類・物品購入時等・礼状等の送料	・笹川スポーツ財団への書類等郵送費は対象外	CD当日 -
貸借料	・電話・FAX・PC等の借上料 ・機材（マイク、スピーカー、AED等）の借上料 ・スポーツ用具の借上料	・個人の所有物に対する貸借料は対象外	CD前日・当日・翌日
保険料	・スポーツ傷害保険、賠償責任保険等		CD前日・当日・翌日
委託費	・集計/報告やプログラム実施に係る業務委託等	・原則、委託費の割合は 助成対象経費合計の50%以内	-

10 事業完了報告書の提出

1. 事業完了報告書の提出

申請団体 チャレンジデー2020 を実施するために自治体が構成した実行委員会

報告期間 2020年10月15日（木）

助成対象期間 2020年4月1日（水）～2020年8月31日（月）

※領収書の宛名は申請書の差出人である「実行委員会名」で統一。

※領収書の日付未記入または、上記期間外の場合、助成対象外とする。

提出書類

- ② チェックリスト
- ②完了報告書1（押印は団体印及び代表者印（どちらも必須））
- ③完了報告書2
- ④収支決算書
- ⑤領収書のコピー
（申請書の差出人である「実行委員会名」以外の宛名は対象外）
※支出科目ごとに取りまとめ、A4用紙に貼り付け提出
- ⑥アンケート

提出方法 以下の送付先まで提出書類を郵送 ※締切厳守

<送付先> 〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル3階
笹川スポーツ財団 チャレンジデー本部

2. 助成金額の確定

確定時期 2020年10月～12月

確定通知書 完了報告書に基づき助成金額を確定し郵送

返還依頼通知書 概算払額よりも確定額が下回った場合、返還金が生じます。
返還依頼通知書をご確認の上、発信日から1週間以内に当財団の指定口座へお振込みください。
発信日から1週間以内に指定の口座に返還金をお振込みください。

11 チャレンジデーフォーラム・メダル認定証授与式への参加

【開催趣旨】 当財団では、チャレンジデー実施自治体をはじめ、スポーツに携わる関係者を対象に、スポーツ振興に有益な情報を共有する場としてフォーラムを開催しています。第1部では基調講演とパネルディスカッションのほか、外部連携で実現した事例を紹介します。第2部では、5月27日に開催された「チャレンジデー2020」で好成績を残した自治体を表彰するメダル認定授与式も行います。皆さまのご参加をお待ちしています。

開催日 8月21日（金）15時開始予定

会場 京都市内（京都駅周辺を予定）

対象者 チャレンジデー実施自治体・実施検討自治体のスポーツ振興担当者スポーツに関心のある自治体関係者、スポーツ振興団体関係者、報道機関など

参加申込方法 当財団ウェブサイトよりお申し込みください。（8月14日（金）締切）
※チャレンジデー実施自治体は、チャレンジデーフォーラム・メダル認定証授与式出席における交通費と宿泊費（実費）1名分が助成対象経費となります。

**荒天等による
開催中止** 荒天等のやむを得ない事情によりフォーラムの開催が中止となった場合、交通費と宿泊費のキャンセル手数料は助成対象経費とします。
キャンセル手続きを行わなかった場合、交通費と宿泊費はすべて助成対象外経費となりますのでご注意ください。

定員 約130名（先着順）

内容 ※詳細は決まり次第お知らせいたします。

12 Q&A（よくあるご質問と回答）

Q. チャレンジデー実行委員会の会議開催時期や回数はきまっているのか。

A. 指定はございません。各自治体にお任せします。

Q. メールニュースの添付ファイルが開けない。

A. メールニュースは配信後、当財団ウェブサイト「過去のメールニュース」にバックナンバーを全て掲載しておりますので、該当のメールニュースをご参照ください。

Q. チャレンジデー広報グッズの申込が締切期限に間に合わない。

A. 締切後はグッズチラシ記載の問い合わせ先に直接お問い合わせください。

Q. チャレンジデーのロゴマークを製作物等に使用したい。

A. 当財団ウェブサイトよりダウンロードしご使用ください。

Q. エール交換は時期や方法に決まりはあるのか。

A. 決まりは設けておりませんので、各自治体にお任せいたします。

Q. eスポーツは認められるのか。

A. 体を動かさずきっかけ作りとしてチャレンジデー及び各種イベントを実施していただきたいので、身体活動を優先してください。

Q. 買い物ウォーキングは認められるのか。

A. チャレンジデーであることを買い物の前にお声掛けいただく等、事前の意識づけとその報告を前提に、参加者のカウントをお願いします。

Q. チャレンジデー当日の集計方法に決まりはあるのか。

A. 細かい決まりは設けていませんが、ダブルカウントにならないようご注意ください。

Q. 自治体旗の掲揚に決まりはあるのか。

A. 決まりは設けておりませんので、各自治体にお任せいたします。

13 Q&A（助成金にかんしてよくあるご質問と回答）

Q：収支決算書のエクセルの行がたりない為、エクセルのフォーマットを変えてもよいか？

A：エクセルのフォーマットは変更せず、

収支決算書に領収書の合計を記載（消耗品一式等）して、内訳を別途わかるようにご提出ください。

Q：軽減税率対象購入品は場合どのように入力すべきか？

A：CD2020 助成金申請書よりフォーマットを変更しておりますので、税率にかかわらず、全て税込の金額で計上してください。

Q：振込手数料はどの費目に計上か？

A：生じた費目に計上してください。

製作物の振込手数料であれば製作費、消耗品の振込手数料であれば消耗品費に計上してください。

Q：1つの団体から3名派遣した場合人件費はどのようになるのか？

A：1団体へ支払う場合は10,000円（税込）まで対象となりますが

3名それぞれに支払いをする場合は3名分の以下書類をご提出ください。

領収書のコピー ※領収者の「氏名」「住所」「電話番号」「押印（サイン）」

Q：チャレンジデーフォーラム参加の日当は対象になるか？

A：日当にかんしては助成金対象外経費となりますので対象外経費に計上してください。

Q：チャレンジデーフォーラム参加の交通費と宿泊費に関してパック料金での支払いの場合、どの費目に計上か？

A：全額交通費に計上してください。

また、経路等内訳の詳細がわかる書類をご提出ください。

Q：電車代や宿泊費は市の規程にそって提出したい、対象経費となるか？

A：市での精算は対象外経費となります。

実費額が助成金対象経費となります。公共機関の領収書を添付してください。

Q：協力団体の移動用バスをチャーターした場合対象経費として認められるか？

A：運転手つきであれば賃借料、運転手なしであれば交通費に計上してください。

Q：参加賞が1名あたり600円の場合どう計上したらよいか？

A：参加賞は1名あたり500円が上限のため、500円は対象経費に計上、100円は対象外経費に計上してください。

Q：デジカメは対象経費として認められますか？

A：自治体で備えるべき設備・備品は対象外です。

Q：送料はどの費目に計上か？

A：通信運搬費に計上してください。製作費（ミズノ）送料等も通信運搬費に計上してください。

Q：会場設営は会場費か、委託費か？

A：委託費に計上してください。

笹川スポーツ財団 チャレンジデー本部

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 3階

TEL：03-6229-5300 FAX：03-6229-5340

Email：cday@ssf.or.jp